

石田縞

第6回

石田縞アイデア小物コンテスト作品集



久嶋 英子

石田縞保存会 作品集

石田縞



鯖江市繊維協会



主催 ■ 鯖江市繊維協会

後援 ■ 鯖江市、鯖江商工会議所、鯖江観光協会、
福井新聞社、FBC、福井テレビ、丹南ケーブルテレビ

幻の石田縞 江戸時代から織られた石田縞 福井の女学生に愛された木綿織り

汗を吸い、丈夫で保温にも適している木綿を使い、縦横に筋を入れた縞織物は、南蛮貿易で注目され「唐縞」などと呼ばれ江戸時代では最新の織物でした。

鯖江の下石田に住む、高島善左衛門は貧しい村人を救うために文政年間に美濃で縞織物を習い、織工を招いて工場を建てました。これが人気を博し、副業として近在に広がりました。これが石田縞の始まりです。

石田縞は経糸に細い唐糸を2本撚り合わせた双子糸を使い、緯糸に単糸の唐糸を使用したので双子木綿とも言われています。衣服、野良着、布団地などに使用されていました。明治33年(1900)には生産高33万反にまで達するほど織られました。

明治39年に福井女子師範学校女子部が石田縞の袴を制服に採用したのを皮切りに、福井県下の女学校や小学校の制服に指定されていきます。

大正時代に動力で動く力織機によってさまざまな布が大量に織られ、学校制服がセーラー服へと変わったように、洋装が普段着に使われるようになると石田縞は急速に衰退していきます。

今では幻の織物と呼ばれていますが、数人の作家によって復元し、繊維協会手織りセンターでは現代の好みに合わせた色やデザインで実際に織る体験が出来るようになりました。



丹生高校の修学旅行写真(京都・嵐山) 女学生が縞織を着ている姿が確認できる。

石田縞アイデア小物コンテスト

草木で染めた糸を手織りした石田縞。江戸時代から織られ、たくさんの人から愛されたこの石田縞の美しさと魅力を、今の時代にふさわしい形で、身近な小物で、新しいアイデアで発信したい。繊維協会ではそのアイデアを広く皆様に募集するため、アイデア小物コンテストを開催いたしました。今年は64点の応募がありました。

- 内 容 「石田縞を使った商品にあつたらいいな。」と思うアイデア小物を募集するコンテスト
- 対 象 高校生以上
- 参加要件
 - ・石田縞をメインにアイデア小物を製作ください。
 - ・参加者が自ら製作し、未発表のものに限りです。
 - ・石田縞以外の用品は参加者の方で負担してください。
 - ・出品されたアイデア小物は返却しますが、小物の製造著作権は繊維協会のものとします。
- 作品展示 11月25日(金)～11月27日(日)
鯖江市まなべの館
- 副 賞 最優秀賞(賞金3万円) 1本
優秀賞(賞金5千円) 10本

■審査員

仁愛女子短期大学生生活科学学科准教授	前田 博子
一般社団法人鯖江観光協会専務	長谷川伸英
鯖江市産業環境部商工観光課長	田中 了太
石田縞保存会	久嶋 英子
石田縞保存会	吉村 和枝
協同組合鯖江市繊維協会理事長	野尻 利雄

石田縞アイデア小物コンテスト審査員長講評

この度は50名の方から64点の作品をご応募いただき、ありがとうございます。

昨年より新規の応募数が増え、一人でも多くの方が石田縞に触れ、手芸を楽しんでいらっしゃる事とても嬉しく思います。作品の多くがポーチや鞆といった作者の暮らしに寄り添うものも多く、布は人々の暮らしに寄り添う物なのだ改めて感じました。

石田縞も人々の暮らしを支え、寄り添ってきたのだと、見えない人々の営みが継承されています。

昨年から、石田縞以外の地場産業との組み合わせを提案される作品が多いことも喜ばしい事です。眼鏡、漆器、陶器といった工芸品と石田縞との関わり方が地域創生の資源となります。

そのためには、みなさまに愛用していただく事が大切です。

今後とも石田縞の良さを広めていただくべく、他の工芸品と合わせて手芸活動ならびに着用、愛用していただきますようお願い申し上げます。

審査員長 仁愛女子短期大学生生活科学学科准教授 前田 博子



最優秀賞



通院カードケースポーチ

藤井 一代

主役の石田縞の魅力を最高にアピールするため別布使用を最小限にしました。単純な縞をどのようなデザイン引き立てたらいいか考えました。5日間で仕上げただけだったので時間をもっとかけよ作品を作ったらよかったと思います。病院に行くときなどこのポーチ一つでそろっていますよ。

優秀賞



オカリナ入れバック

山本 壽美子

陶器でできたオカリナのAF管、AC管、SF管等を入れて持ち運ぶバックを作りました。衝撃による破損を防ぐようにとポコポコと綿を入れたデザインを考えました。来春、古希を迎えるので石田縞の紫色の入った生地で作成しました。

優秀賞



コースター

和田 千代子

見た目はコースターとは言っても、お湯のみを乗せると石田縞と和がしっくり来ました。その他の使い道として我が家では「こけ玉」を置いたり手作りの動物等座布団の様にしても可愛いんです。

優秀賞



ぺたんこバッグサークル ぺたんこバッグライン

武田 カナエ

石田縞のハギレを活用しサステナブルなものづくり。手織りの石田縞の生地を小さなハギレまで大切に使用したい気持ちで製作しました。ちょっとそこまでにちょうどいいぺたんこバッグを石田縞の『縞』を活かしたサークル(円)とライン(線)で作りました。

優秀賞



茶Bagでお出かけ

中村 和佳代

気軽に出かけた先でお茶をいただけたら…と思い茶箱のようなBagを作りました。中身の出し入れがしやすいようにがま口タイプにし、茶碗がいたまないように茶碗入れも茶杓入れとお揃いで作りました。家にある布を生かして作りました

優秀賞



お父さんの夏休み

林 公枝

鼻緒を下駄に通し始末するのに大変でした。

優秀賞



仮置き用マスクポーチ

白崎 寿子

外食の時マスクを取りテーブルに直接置くのは抵抗がありティッシュの上へのせました。何か良いものとは考え作製しました。バックの中でも場所を取らず便利です。

優秀賞



石田縞と越前畳へりの一松模様に

吉田 由美

コンテストのご案内をいただき、石田縞と越前畳へりを一松模様になりました。バッグは石田縞生地を4cm中に、クラッチバックは2.5cm中にカットして畳へりと合わせました。持ち手部分にも石田縞生地ですとめてみました。残り布もすべて使いたかったので小物入れも作りました。

優秀賞



縞縞柄のコサージュ(バラ)

吉田 啓恵

石田縞の縞柄を生かしてバラを作りました。

優秀賞



ちょっと小粋に
お出かけショルダー
(はぎれ)バックインキンチャク
(はぎれ)ヘアゴム

織の使い方を工夫しました。
大切な布を余すことなく使うことを考えました。淡い色
合いを使い石田織のきれいさがより引き立ち洋風に
仕上がったことが気に入っています。

田邊 啓子

優秀賞



にゃんこヘアゴム

自分の好きな猫をモチーフにして縦、横模様でオス、
メスにゃんこを作りました。特にしっぽをリアルに意識
して作りました。

高森 梨恵

応募作品集



エコバッグ入れ

吉田 紀美枝



ティータイムセット
(カトラリーケース2種類、
ポットカバー、ポットマット
コースター、かごり)

田中 恵子



朱印帳入れ

小畑 英子



ストラップ

小畑 英子





切りばめ縫いのポシェット

小林 かず子



ショルダーバック

加藤 千枝



小物入れ&ショルダーバック

大森 弘美



エコバッグ「シュパット」大、中

山田 悦子



あねさんかぶり帽

武田 カナエ



野辺のお地藏様

中西 京子



きんちゃくとポーチ

武藤 博子



石田縞×めがねのまち鯖江
(メガネケース)

佐々田早智子





あったら便利小物入れ

佐々田早智子



たれ耳ワンコのポーチ

宇野 由美子



生活の中の石田縞
肩かけバッグ
スマホケース

内藤 ヒロ子



おうち時間も楽しく素敵に
石田縞をはくルームシューズ

小柳 由紀子



生活の中の石田縞
はっぱのコースター

内藤 ヒロ子



暮らしの中に石田縞

木下 邦子



生活の中の石田縞
ストラップ

内藤 ヒロ子



アクセサリソーサー

坂井 悦子





スマホケース
名刺入れと携帯常備薬入

坂井 悦子



コンパクトだけどたくさん
入るエコバッグ

山本 栄子



ヘアゴム、ヘアピン、
ショールピン、イヤリング、
オリジナルボールペン

坂井 悦子



ジャンパースカート

手賀 和美



ランプシェード

坂井 悦子



ポシェット

高橋 みち代



とんがりニットキャップ

牧野 りえ



ミニボストンバッグ

高島 礼





巾着袋

上嶋 恭子



携帯用
ボックスティッシュケース

白崎 寿子



タペストリー

水野 ひろ子



マスク&猫ちゃん

高原 千恵子



SDGs
(持続可能な教育と再生)

川端 菜穂



縞縞柄のコサージュ

吉田 啓恵



お手玉(大小8個)

蓑輪 洋子



石田縞のヘアターバン

佐々木 紀美





サコッシュ

横山 勝代



スマホポシェット

西尾 則子



きんちやく袋3点

田邊 緑



ランチクロス兼用お弁当包み

松田 里世子



ブローチ6点

田邊 緑



リメイクタイ

木本 博子



アームカバー(おしゃれ)

佐々木 生子



バックinバック
(車のキー&免許証限定)

長澤 孝子





巾着袋

上嶋 恭子



携帯用
ボックスティッシュケース

白崎 寿子



タペストリー

水野 ひろ子



マスク&猫ちゃん

高原 千恵子



SDGs
(持続可能な教育と再生)

川端 菜穂



縞縞柄のコサージュ

吉田 啓恵



お手玉(大小8個)

蓑輪 洋子



石田縞のヘアターバン

佐々木 紀美





サコッシュ

横山 勝代



スマホポシェット

西尾 則子



きんちやく袋3点

田邊 緑



ランチクロス兼用お弁当包み

松田 里世子



ブローチ6点

田邊 緑



リメイクタイ

木本 博子



アームカバー(おしゃれ)

佐々木 生子



バックinバック
(車のキー&免許証限定)

長澤 孝子





巾着にもなる
車サンバイザー用ポケット

長澤 澄雄



幸せポーチ プチバック

斉藤 妙子



スマホケースと
システムバック

宮道 祥代



ランチョンマット

吉本 智子



バック

山田 信子



はし入れ

戸田 あゆみ



昭和初期 鯖江女子師範学校修学旅行

昭和の5年、6年頃の福井県内の女学校や小学校などの卒業写真や、修学旅行の写真を見ると石田織を着ている学生が多く写っている。制服として普及していたことがうかがえる。

石田織は、江戸時代最先端の織機である高機で織られたものが最初だったが、糸を仕入れてその縞模様を模倣しつつ家庭に普及していたイザリ機でも織られたようである。最盛期には石田に二つあった染物場で糸が染められ、工場でボタン機を改良した織機で織られ、旧石田の公民館1階にあった検査場で検査を受けて出荷された。染物場(2か所あったが、1か所は場所も不明)や、旧公民館の写真は現存していない。もし、ご家庭で石田織を着ている写真や、工場の写真、染物場の写真、旧石田公民館の写真などがあれば、繊維協会にご一報をお願いしたい。

石田縞



堀みどり



坂井悦子



吉村和枝



久嶋英子



西川智恵子



渡辺洋子



牧野京美



伊藤順子



原節子

石田縞保存会 会員作品集

